

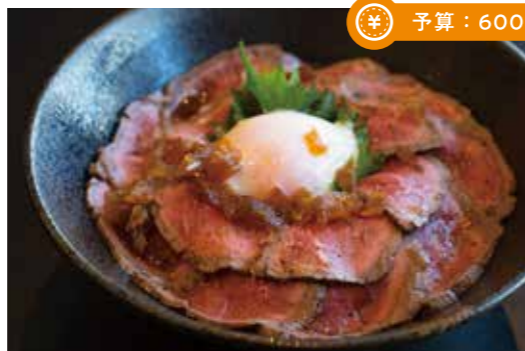
宮若を深く知る 歴史探訪 モデルコース

「竹原古墳」をはじめ多くの文化財が点在する宮若市。
歴史・文化にまつわるスポットを巡り、
疲れた体を宮若の名湯で癒して♪

コース全体の予算の目安：22,000円～30,000円

井や膳

予算：600円～



店主の自慢の漬物は山芋や胡瓜、キャベツなど
箸休めにも最適。季節
に応じて漬物も変わる
ので要チェックだ！

DATA

〒宮若市本城706
☎080-6430-4660
🕒11:00～14:30 / 18:00～翌2:00
🚗🚶🚲🚗
📶📶📶
📶📶
📶

01.



昼・夜ふたつの顔を持つ
こだわり肉と生姜の店

昼は肉にこだわった井やカレーうどんを提供する『井や膳』、夜はダイニングバー『zen』と、二つの異なる顔を持つ同店。昼・夜共に人気のメニューはレア感たっぷりにローストされた肉がこれでもかと乗った『ローストビーフ丼』(1000円)だ。精肉店出身という店主が目利きした肉は、噛めば噛むほどに旨味が増し、生姜が効いた甘めのタレが食欲を掻き立てる。ランチ時には、ご飯は大盛り無料、肉は+100円で追加できるほか、食べ放題だという手作りの漬物とスープがセットになるのも嬉しい。

11:00

01. ランチタイム

車で15-20分

13:30

02. 歴史を学ぶ

車で5分

15:00

03. 古代ヘタイムトリップ体験

車で20分

16:30

04. 近代産業を知る

車で20分

18:00

05. 宿にチェックイン

宮若トレッジ

DATA

〒宮若市宮永11-1
☎0949-52-1510
🕒9:00～17:00
🚗🚶🚲🚗
📶📶📶
📶📶
📶



入館料：無料 (貸館は別料金)

施設内には竹原古墳の実物大レプリカが、ガラス越しではわからない石室のスケールを体感しよう！

小学校をリノベーションした場所で
古代から現代までの宮若を学ぶ

令和4年4月1日に開館した宮若市文化財収蔵・展示・交流センター。百年以上の歴史を持つ旧若宮西小学校をリノベーションし、現在は、発掘調査で出土した遺物や宮若市に伝わる古文書を収蔵する「収蔵室」、宮若市の歴史と文化を伝える「展示室」、観光情報の発信や地域の交流の場となる「交流ゾーン」など、文化発信の拠点施設としてさまざまな機能を持つ。古代から現代までさまざまな文化・産業が育まれてきた宮若の歴史を知り、さらなる魅力を見つけよう。

竹原古墳

全国でもめずらしい
古代の壁画アートを鑑賞

入館料：大人 220円
中学生 110円
小学生 50円
(20名以上は団体料金)

03.



諏訪神社の境内にある、6世紀後半に築造された直径約18m・高さ約5mの円墳。駐車場にある受付で見学を申し込み、石室への扉を開けてもらう。身をかがめて石室内をのぞくと、黒や赤の古代顔料で描かれた壁画をガラス越しに見ることができる。レプリカではないリアルな古墳と色鮮やかで物語を感じさせる壁画に思わず息をのむだろう。

DATA

〒宮若市竹原731-2
☎0949-52-0379
🕒9:00～16:00
🚗🚶🚲🚗
📶📶📶
📶📶
📶

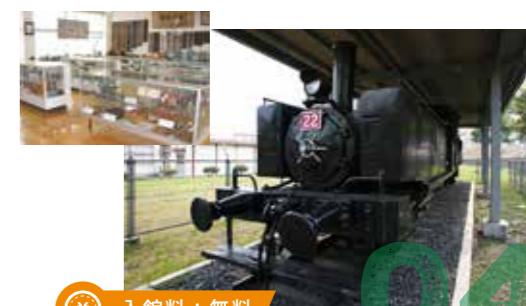
筑豊地方屈指の炭鉱
貝島炭砒の歴史を知ろう

石炭記念館

1世紀にわたる筑豊の石炭産業を最後まで支えた貝島炭砒の歴史を網羅した記念館。展示品から歴史はおろか、人々の暮らしまでも目に浮かんでくる。貝島私学発祥の地で、旧大之浦小学校の校舎をそのままに活用したこの記念館は、懐かしい雰囲気と独特の空間を演出していて、2010年公開の映画「信さん・炭坑町のセレナーデ」のロケ地として使用された。

DATA

〒宮若市上大隈573
☎0949-32-0404
🕒9:00～17:00
🚗🚶🚲🚗
📶📶📶
📶📶
📶



入館料：無料

04.

湯めぐりの宿 楠水閣

DATA

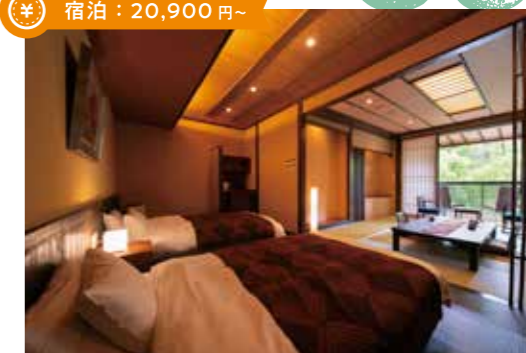
〒宮若市脇田507
☎0949-54-0123
🕒チェックイン / 15:00～19:30、
チェックアウト / 10:00
🚗🚶🚲🚗
📶📶📶
📶📶
📶



くつろぎの宿でひっそり過ごす
贅沢なプライベート空間

2012年にリニューアルした和風旅館。その落ち着いた佇まいと創業以来変わらぬおもてなしの心で旅人をあたたかく迎えてくれる。館内に入ってまず目につくのは、一面量のロビー。ラウンジやお部屋からの景観も良く、犬鳴川のせせらぎは四季折々の彩りもあいまって、和風旅館の風情とともに寛ぎのひとつを演出。年に4回変わる会席料理は、季節を十分に感じられるように吟味され、日帰りプランや入浴付きランチなど、宿泊以外にもその素晴らしさを堪能できる。

宿泊：20,900円～



改装リニューアルで新たに誕生した専用ウッドデッキ付きの客室も誕生。緑豊かな自然を感じることのできる客室で旅の疲れを癒そう